

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①学習指導要領改訂に対応し、教科学習と課題研究の相乗効果による「知の循環」が有効に機能するための教育課程を編成する。</p> <p>②「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、更なる授業改善に取り組む、評価方法を研究する。</p>	<p>①新学習指導要領への移行を契機とする授業形態の転換を活かし、教科学習および探究活動への生徒の主体的な取組を促進することにより、科学的思考力と創造性、国際性を伸長する。</p> <p>②学力伸長および「深い学び」の実現を目標に、新学習指導要領に基づく指導に活かす評価を追究する。また、主体的な学習の促進をテーマとする授業改善を引き続き進める。</p>	<p>①SSH 事業に加え、STEAM 教育推進指定校としての実施計画を適切に作成し、実践する。</p> <p>①学力向上WGと協働し、公開研究授業等を通じ組織的に授業改善に取り組むことで、新しい授業形態への転換を促進する。</p> <p>②授業見学や研究授業等、教員相互の授業研究の機会を増やす。生徒の振り返りを基に、教科として授業改善を図るカリキュラムマネジメントを進める。</p>	<p>①SSH 事業・STEAM 教育に係る校内体制、実施計画を適切に作成し、実践できたか。</p> <p>①授業評価等を用いて生徒の変容をはかる。</p> <p>①課題研究や探究的な学習活動と各教科学習を往還させた授業改善を図っているか。</p> <p>②「生徒による授業評価」および「学力調査」等の結果。</p>
2	生徒指導・支援	<p>①特別活動や部活動を通じてトータルな人間教育を行い、将来リーダーシップを発揮できるようなバランスの取れた人材を育成する。</p> <p>②SC、SSWや外部機関と連携した支援体制を構築し、個々に応じた支援を行う。</p>	<p>①令和2年度からのコロナ禍により、変容が迫られる特別活動や部活動に生徒が積極的に取り組むよう支援し、校訓「自主自律」の精神を育む契機とする。</p> <p>②SCとの連携体制やSSW等外部機関との連携による生徒情報及び生徒支援の手立てを、校内で迅速に共有し、生徒個々への支援に活かす。</p>	<p>①特別活動や部活動への積極的な参加を促す。</p> <p>①「自主自律」について生徒自身が考える機会を作り、生徒によるルールメイキングを進める。</p> <p>②教育相談コーディネーターの役割を機能させ、個々のケースに組織的に対応する。</p> <p>②SC 来校時の関係職員との振り返りの時間を確保する。</p>	<p>①部活動加入率</p> <p>①アンケート結果等から、生徒の変容をはかる。生徒による新たな企画・取組は見られたか。</p> <p>②個々のケースにおいて、時期を逃さず解決策を検討し、適切な支援を行えたか。</p> <p>②情報共有を十分に行い支援につなげることができたか。</p>
3	進路指導・支援	<p>①生徒一人ひとりが高い志望を実現するためのキャリア教育プログラムを構築し、3年間を通じて一貫した進路指導を行うことで希望進路の実現に繋げる。</p>	<p>①生徒や保護者へキャリア形成について考える機会を効果的に提供し、生徒が強い意志を持って第一志望進路を選択できるよう、3年間を見通した進路指導を行い、その実現につなげる。</p>	<p>①未来ナビ、医療系ゼミを社会状況にあった形で運営する。</p> <p>①ICT を用いた模試の分析等を含め、進路指導に係る各種指導内容（模試・講習の実施・情報提供・進路相談）を連携させる。併せてキャリアパスポートの活用に取り組み、第1志望進路の実現を図る。</p> <p>①保護者への情報提供の回数と内容の充実を図る。</p>	<p>①未来ナビの満足度調査。医療系ゼミを年5回以上開催できたか。</p> <p>①各講習を有効に活用できたか。（参加人数。講座受講後等のアンケート結果）</p> <p>①模試の有効活用により、進路指導計画の効果的な実践ができたか、また、職員の進路業務に係るスキルアップは図れたか。</p> <p>①ICT を活用した進路情報を保護者と共有できたか。</p>
4	地域等との協働	<p>①探究活動を中心に近隣の小中学校等との交流を行い、地域貢献に繋げる。</p> <p>②コミュニティスクールを活用し、保護者・地域との連携をより一層深め、開かれた学校づくりを推進する。</p>	<p>①探究活動や課題研究を通して得た知見を地域へ積極的に発信し、地域社会における科学の普及や地域の活性化につながるネットワークの構築を図る。</p> <p>②コロナ禍で停滞していた地域の教育力の活用を具体化し、地域への貢献とともに、家庭・地域による生徒の人間性・社会性の育成にもつなげる。</p>	<p>①各種コンテストや学会に積極的に挑戦して得た知見を基に、生徒による地域の児童・生徒に向けた「科学（実験）教室」の主体的な企画・運営を行う。</p> <p>②地域の防災訓練等の活動に参加し、地域の課題解決への参画を図る。生徒と地域住民が相互にボランティア活動に参加できるような環境整備に努める。</p>	<p>①各種コンテストへの参加状況のほか、リフレクションシートを用いて生徒の変容をはかる。</p> <p>①生徒による地域への科学教室が主体的に企画・運営できたか。</p> <p>②地域の防災訓練等に関わることができたか。生徒が地域の活動に参加できたか。地域住民が学校支援ボランティアに参加できたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①令和2年度末からの耐震工事に備えて環境整備を進め、教育環境への影響を最小限にとどめる。</p> <p>②HPをはじめとしたツールを活用し、学校からの積極的な情報発信を行う。</p> <p>③教職員の仕事を精査し、組織的な学校運営と校務の効率化を図る。</p>	<p>①仮設校舎からC棟への移転及びA棟から仮設校舎への移転について安全に万全を期すとともに生徒の学習環境への影響を最小限に抑える。</p> <p>②Google Classroom、ロイロノート、スタディサプリ等のツールを活用した学習環境の円滑な運営を行う。生徒目線による広報コンテンツを用意しHPをより充実させ本校の魅力を発信する。</p> <p>③Teams 活用の推進、特に掲示板とChat機能を活かして情報の周知や共有の効率化を図る。</p>	<p>①工事の工程・状況について情報共有、業者も含めた連携を確実に実行し、安全な学習環境を確保する。</p> <p>②一人一台端末の導入を踏まえ、特に新1年生がGoogle Classroom、ロイロノート、スタディサプリ等の学習アプリを円滑に活用できるよう支援する。生徒広報タスクフォースを立ち上げ、生徒とともに広報活動を行う。</p> <p>③各種の情報共有を非常勤講師・事務職員も含め職員がTeams を使って行えるよう環境を整え、定着を図る。</p>	<p>①耐震工事に際して適切な環境整備を実施できたか。</p> <p>①耐震工事に関する情報共有、連携が必要な時期に適切に行われたか。</p> <p>②日々の教育活動においてインターネットへの接続やアプリケーションの起動が円滑に行われたか。生徒目線の魅力的なコンテンツがHPにアップロードされたか。</p> <p>③日々の業務において、情報の周知・共有が適切に行われたか。</p>